

横田下古墳出土遺物

分野 歴史

地域 浜玉

◎地図・写真・統計資料など



横田下古墳出土遺物

(『佐賀県の文化財』より)

■横田下古墳出土遺物（よこたしもこふんしゅつとどいぶつ）

横田下古墳は、唐津市浜玉町横田の、東部唐津平野を見下ろす丘陵南端に位置する。大正13年土地の所有者が山林開墾中石室の羨道部を掘りあて、内部の石棺を開けた際に副葬品を発見した。鏡には獣帯鏡と方格規矩鏡がある。獣帯鏡は径12.2cm、方格規矩鏡は径10.4cm。筒形銅器は、長柄の武器等の柄尻に装着されたもので、一端が開いている中空円筒になっている。長さ12.7cm。筒身には上中下段に節帯を設け、中帯を挟んで上下各四方に透かしがある。共に出土した高坏から、これらの遺物は5世紀前半から中頃のものと考えられる。

平成元年3月27日 県重要文化財（考古資料）指定
唐津市浜玉町浜崎（唐津市教育委員会）

◎引用・参考文献（出典）

◆『佐賀県の文化財』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html